

令和5年度マイスター・ハイスクール事業 成果発表会 講評シート

学校名(大分県立東高等学校)

1. 取組についての評価

生徒がまず、農業とITの基礎を学習し、実際の農業生産現場の実態を体験し現場のニーズを深掘りしながら課題設定を行い、ソリューションの実践、振り返り、新たなアイデアの仮説検証という「学習」「実践」「PoC」「実用化」のサイクルを実践できていることは大いに評価できる。

2. 今後の課題と考えられること

県内の農業関係就労への関心が当初より46%上昇したことも評価できる。今後実際に地域産業である農業の課題解決に自ら取り組むことに期待する。
また、農業クラブ大分県大会優勝やアグリテック甲子園2023優秀賞受賞など成果が評価されていることから、今後、より一層のアウトリーチ活動を推進し、入学生や連携先の拡大を図っていただきたい。
課題としては、事業終了後の費用・体制面も含めた自立・継続性である。庄原実業が検討している法人化も参考に今後の自立・継続に向けた具体的施策を検討していただきたい。